

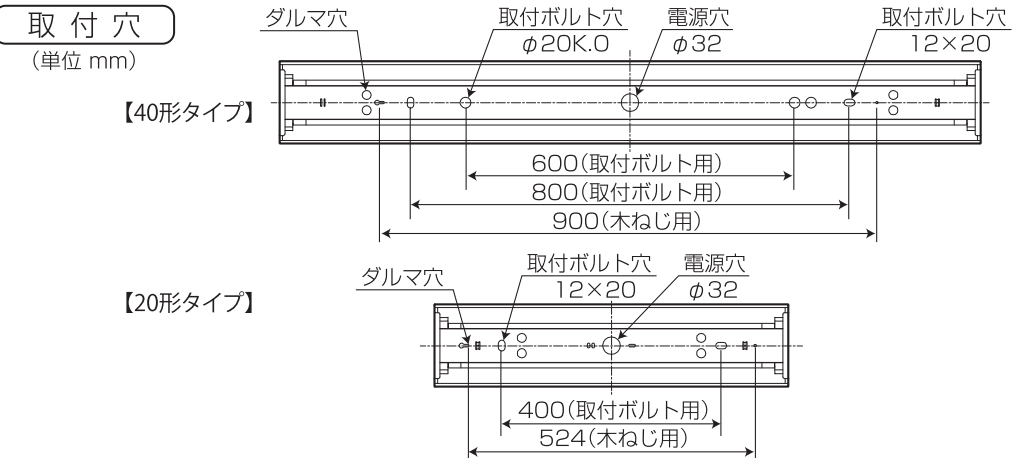
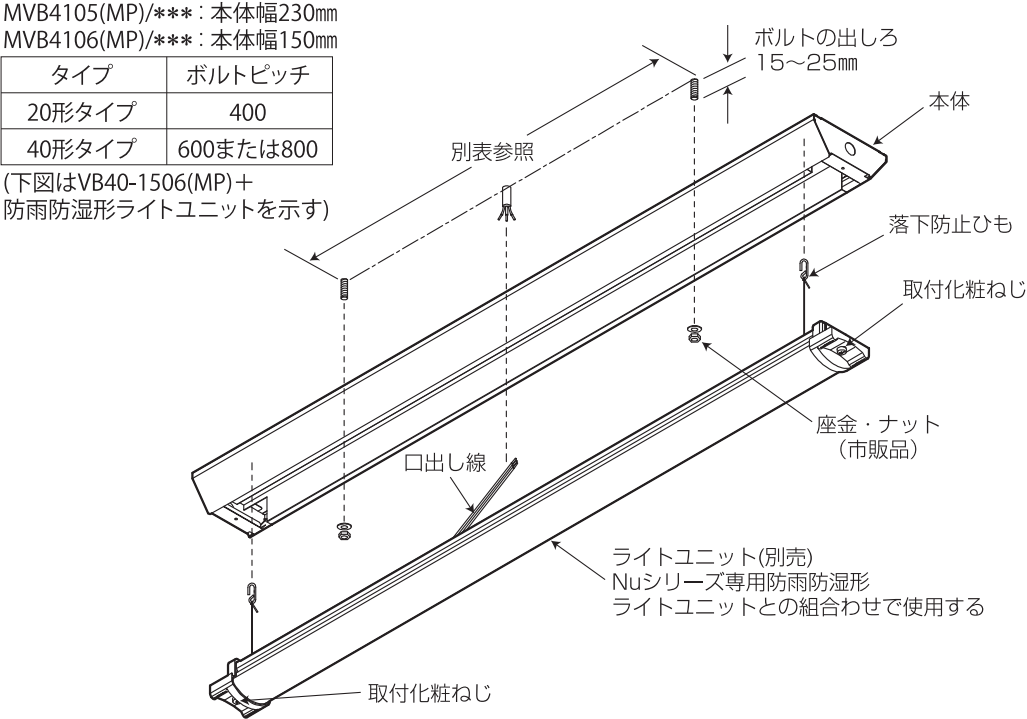
各部のなまえと取付けかた

⚠ 警告 器具の取付けは取扱説明書に従い行う（不確実な取付けは、器具落下・感電・火災の原因）

MVB4105(MP)/***：本体幅230mm
MVB4106(MP)/***：本体幅150mm

タイプ	ボルトピッチ
20形タイプ	400
40形タイプ	600または800

(下図はVB40-1506(MP)+
防雨防湿形ライトユニットを示す)



1 取付前の確認

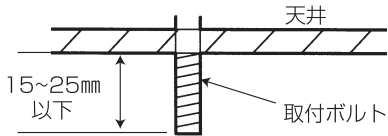
- 器具質量に十分耐えるよう取付ボルトまたは木ねじ取付部の強度を確保する。
- ・取付ボルトを使用の場合は、W3/8またはM10を使用する。
 - ・木ねじを使用の場合は、丸木ねじの呼び径4.1以上を使用する。

⚠ 警告

器具の取付けは質量に耐える所に取付ける
(落下の原因)

⚠ 警告

取付ボルトは所定の長さで施工する
(ライトユニットとの隙間・落下の原因)



注) 取付ボルト長さは、天井面より
15~25mm以下にする。

2 本体を取付ける

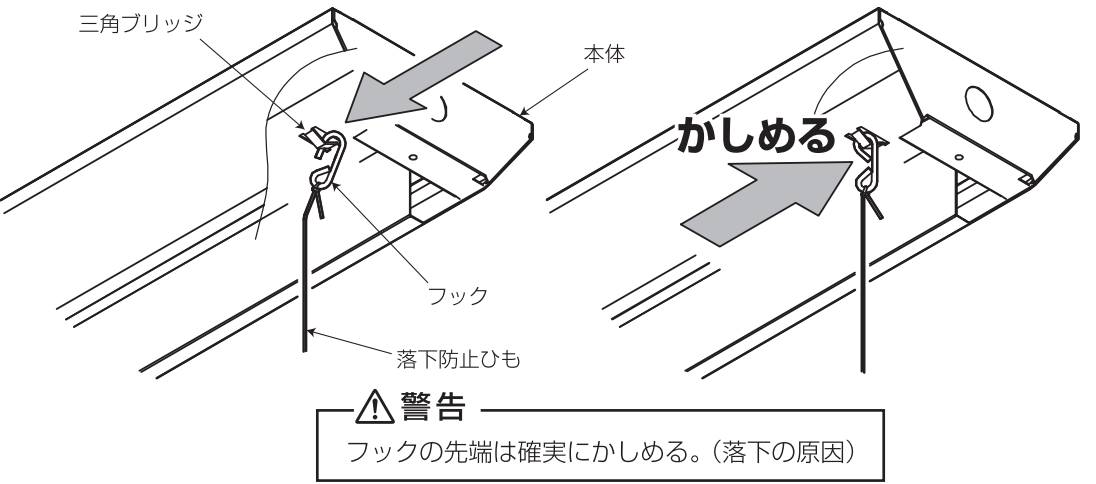
- (1) 電源線・アース線を本体電源穴から引き込んでおく。
- (2) 本体を取付ボルトまたは木ねじで
確実に取付ける。

⚠ 警告

取付けが不完全な場合(落下の原因)

3 ライトユニットを本体に仮付けする

- (1) ライトユニットの落下防止ひも(2ヵ所)の
フックを本体の三角ブリッジに通す。
- (2) 本体に取付けたフックの先端をかしめる。



4 電源線・アース線を接続する
(ライトユニットの口出し線を結線する)

ライトユニットの口出し線の被覆をむき、電源線・アース線に直接結線して防水絶縁処理を施す。
口出し線の結線は、電気設備技術基準の省令第7条、および同解釈第12条に従う。
(内線規定1335-7に準ずる)

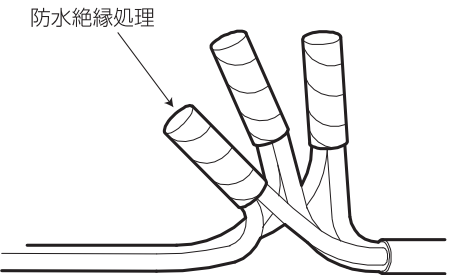
⚠ 警告

電源線の結線後の絶縁・防水処理(融着テーピングなど)は確実に行う。
(結線部の防水処理が不完全な場合、絶縁不良による漏電・感電の原因)

⚠ 警告

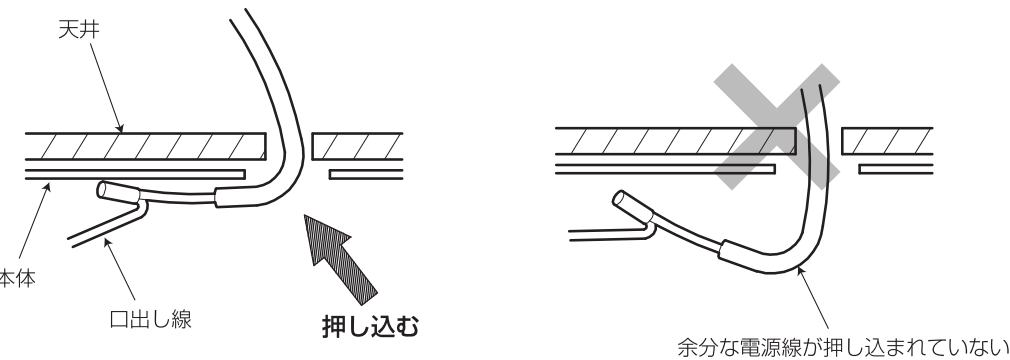
D種(第3種)接地工事を確実に行う。
(接地工事が不完全な場合、火災・感電の原因)

自己融着絶縁テープなどで口出し線結線部の
防水絶縁処理を施した後、防水絶縁処理の先
端を上(天井側)に向ける。



⚠ 注意

電源線結線後、余分な電源線はライトユニットとの干渉を防ぐため、
電源穴へ押し込むか本体内へ電源線を押し込み処理する。



5 ライトユニットを取付ける

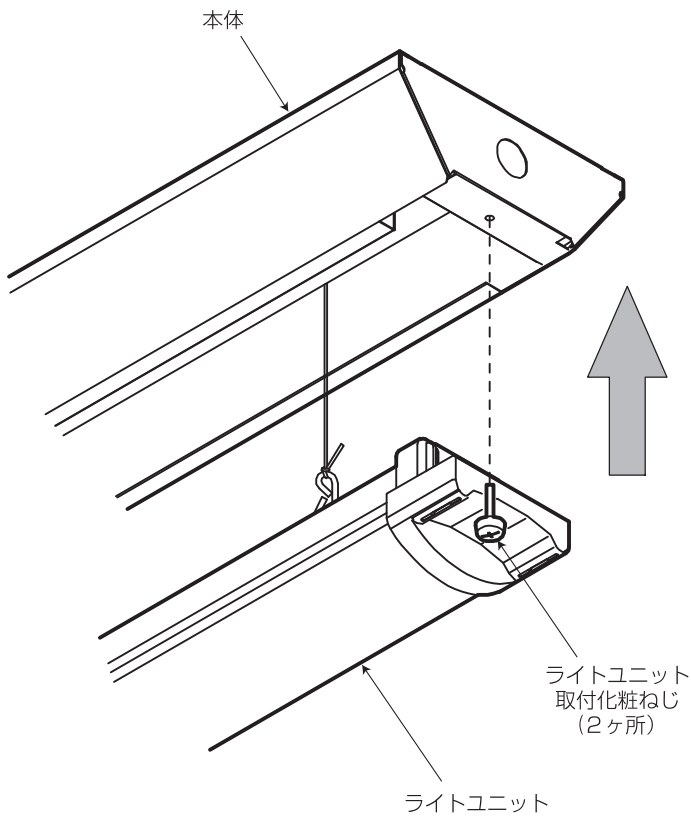
ライトユニットを手で本体に押し当て、取付化粧ねじを
確実に締め付ける。

⚠ 警告

電源線、口出し線を挟み込まない。(火災・感電の原因)

⚠ 注意

本体とライトユニットの間に落下防止ひもを挟み込ま
ない。(落下の原因)
本体にライトユニットが確実に取付けられていること
を確認する。(落下の原因)



ライトユニットの取外しかた

- (1) ライトユニットを手で押さえながら、ライトユニット
取付化粧ねじ(2ヵ所)をゆるめて、本体より取外す。
- (2) 本体の落下防止ひもを外し、ライトユニットを取外す。

⚠ 警告

ライトユニットの取外しは、必ず電源を切る。